

働くって
どういうこと？

女子高校生のための あなたらしい仕事を選ぶ

3つの ポイント

p2

こんな活躍を
している人たちがいます！



2

3



p3

働く時にあなたをサポートする
法律を知ろう

p1

将来どういう仕事をしたいと
思っていますか？



将来どういう仕事をしたいと 思っていますか？



まずあなた自身のことを整理してみましょう

自分自身の長所や興味のあることなど、客観的に自分のことを考えてみると、自分のやりたいことは何か、働くとしたら自分はどのような仕事をしたいのかなどが見えてきます。
そうすれば、卒業後の進路についても具体的に考えることができるようになりますよ。

例えば

- 自分の長所・短所、セールスポイントは何か。
 - 趣味や特技、得意なこと・苦手なことは何か。
 - どんなことにやりがいを感じるか。
 - 将来の夢は何か。
- など

将来の仕事を考えるために

やりたいことは
色々あるけど、何だか
漠然としている…、
どうやって調べたら
いいのかな？



インターネットを使う

会社のことを調べたり、仕事のことを調べたりするのにとても便利。
検索サイトから、「〇〇株式会社」や「〇〇業界」などのキーワードを入力して検索すると、会社の詳細や業界の様子が見えてくる。

キャリアマトリックス

独立行政法人労働政策研究・研修機構が運営している「キャリアマトリックス」は、約500職種の仕事内容を写真と一緒に解説している。
どんな仕事があるのか、その仕事に就くために何を勉強したら良いかが分かる。

URL:<http://cmx.vrsys.net/>

先輩に聞いてみる

実際に働いている人の生の声を聞くことで、働くことのイメージがわきやすくなるかも知れない。学校の先生に聞いてみよう。
インターネットで特定の会社を調べるとその社員の話を読める場合もある。

URL:<http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/seisaku04/03.html>

女性と仕事の未来館

将来の職業選択を想定したシミュレーションゲームなど、楽しみながら自分の現在や未来の働き方について考えるのに役立つ情報を提供している。

URL:<http://www.miraikan.go.jp/>

あなたがやりたいと思う仕事は、卒業してすぐ就けるものですか？
それとも進学して資格をとったり、専門性を高めることが必要なものですか？
その仕事をするには何が必要かを調べて、卒業後の進路についてよく考えてみてください。

「女性だからこの仕事、この専攻」と決めず、 自分は何をしたいのかという発想で選択の幅を広げ進路を選びましょう



高校を卒業したら働く

最初から「女性だから事務職」「技術職は男性向き」などと固定的に考えずに、幅広い目で職業を選びましょう。



大学などで勉強してから働く

「女性だから文科系」「理工系には女性は不向き」と思いこんでいませんか。自分の将来や、やりたい仕事を考え、専攻する学科は幅広く考えましょう。

こんな活躍をしている人たちがいます!



色々な仕事があるのね。何だかワクワクするわ。
先輩の女性はどうな仕事をしているのかな。

事例 1

「お客様にエコで快適な生活環境を提供できる」ことにやりがいを感じます

学生時代は、茶道部でチームワークや協調性を身につけました。高校卒業後、ハードウェアを勉強するため、大学の電子工学科に進学して電気回路について学び、大学の茶道部では、チームワークや協調性を身につけました。

携帯電話で照明の操作をしたり、使用電力量の確認ができるシステムの開発に携わっています。

現在は、住宅内の設備機器のシステム開発に携わり、プロジェクト管理も行っています。システムの動く速さなど性能をチェックし、技術の組み合わせによる最適化を図ります。また、音声などのモジュールごとに仕事を割り振り、進捗管理もしています。

現職の醍醐味はお客様にエコで快適な生活環境を提供できることです。

システム開発の醍醐味は、エコで快適な生活環境を提供できることです。入社時から住宅内の機器や情報をつなぎ、新たな暮らし方の可能性を広げることができるホームネットワークシステムに関心があり、今その夢を形にできています。一方、複雑なシステムを取り扱うことは大変で、様々な組み合わせがあるため、品質を保つベストな組み合わせを考えることが求められます。現在は、自分の専門知識を高めることに努め、関連雑誌や論文をチェックしたりしています。

今後は女性の視点を活かして、新しく海外向け商品の開発をしてみたいです。

もともと商品開発、特に海外向けのホームネットワークシステムの企

画開発に関心があり、今後も女性の視点を活かしたいと考えています。女性が仕事と家庭を両立するのは大変ですので、それをカバーするような商品を開発したいと思います。

学生にしかできないことに挑戦し、働き続けることを目標にしてください!

学生のうちにしか経験できないことに挑戦してください。また、当社は周りに育児をしながら仕事をしている先輩が多くいますし、会社が仕事と家庭の両立支援をしてくれます。一生懸命にやろうと思えば助けてくれる人がきっといますので、頑張ってください。

パナソニック電工株式会社



2002年入社
全社総合技術部門EMITプラットフォーム
開発センター所属 システム開発職

村上 薫さん



■業種: 電気機械器具製造業
■従業員数: 連結 56,848名、単体 12,240名
(男性76%、女性24%)
URL: <http://panasonic-denko.co.jp/>

事例 2

いつか、自分が関わった衛星打ち上げを見るのが夢です。

世界でも数少ない、専門性の高い「宇宙保険」に携わっています。

損害保険には多種多様の保険商品がありますが、私が携わっているのは「宇宙保険」。クライアントは海外の企業を中心に、ロケットや衛星に関する保険を扱っています。宇宙保険は、専門的な内容の英語約款、宇宙リスクの解析の知識など、多岐にわたる高度な知識や判断力が要求され、全世界でも25社程度の保険会社でしか取り扱っていません。

入社4年目で、海外出張を経験しました。

「宇宙保険」の分野では3年間が入門期間と言われています。私もようやく重要なポジションを占める業務を任せられるようになってきました。先日、初めて海外に出張し、海外保険会社へ直接プレゼンテーションするという貴重な経験をさせていただきました。海外マーケットを相手に、宇宙事業に関わるという他では考えられないスケールの大きさが、今の仕事の醍醐味です。

「宇宙」との関わりは海外とのコミュニケーションから始まりました。

入社前から英語を活かせる場所で働きたいと思っていましたが、その希望が叶い、現在の部署に配属されました。高校生の時にはアメリカにホームステイをし、大学では留学生の日本語学習のサポートをしていました。相手のことを真剣に考え、支援を行うその時の経験が、今の仕事に生きています。そういえば、アメリカでホームステイ中にケネディ宇宙センターを見学させてもらったことがありました。

あの時は自分が宇宙に関わる仕事をするなんて想像もつきませんでした。今、不思議なつながりを感じています。

自分が興味を持ったことを追求してください。

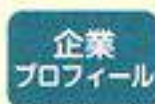
私の目標は、英語力や交渉力にさらに磨きをかけ、グローバルマーケットにおいて存在を知られる宇宙保険のスペシャリストになることです。そしていつかは、自分が関わったロケットの打ち上げを目の前で見るのが夢です。私は、学生の頃から、その時にやりたいことに夢中で取り組んできました。だから学生の皆さんも、その時に興味を持ったことを徹底的に追求してみてください。その経験が、きっとどこかで生きてくると思います。

東京海上日動火災保険株式会社



2006年入社
航空保険部 宇宙保険室
(宇宙保険海外契約担当)

只野 紗也香さん



■業種: 損害保険業
■従業員数: 15,747名(男性56%、女性44%)
URL: <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>

働く時にあなたをサポートする 法律を知ろう



男女雇用機会均等法

～ 職場での性別による差別を禁止する法律です ～

- 働く上での、「男性だから」「女性だから」というような性別を理由とする差別的取扱いを禁止しています。
- 働いている女性について、結婚を理由とする解雇の禁止の他、妊娠・出産などを理由に解雇やその他不利益取扱いをすることを禁止しています。
- 職場におけるセクシュアルハラスメント防止対策について、事業主は実施する義務があります。

労働基準法

～ 労働条件や働く人の権利を守る基本となる法律です ～

- 資金も男女同一が原則となっています。
- 労働者が女性であることを理由として、賃金について、男性と差別的取扱いをしてはならないこととされています。



就職活動やアルバイトなどで働く時に、 こんなことはありませんでしたか？

例えば

- ・求人票には何も書かれていなかったのに、面接の時に「女性(又は男性)は採用しない」と言われた。
- ・面接の時に、「つきあっている人はいるの?」「スリーサイズは?」「子どもが生まれたらどうするの?」など、女性だけと思われる質問を受けた。…など

このような取扱いは男女雇用機会均等法に違反する又はその疑い!



「これは性別を理由とした差別では?」「セクハラでは?」と思ったら、またそういう取扱いがあったということを聞いた場合も、**お名前を出さなくても、学校の先生を介してでも構いませんので、ぜひ労働局「雇用均等室」に相談してください。**

厚生労働省の地方出先機関である**労働局「雇用均等室」**では、男女雇用機会均等法に関する相談を受け付けており、法律に違反している企業に対しては指導を、また問題解決のためのお手伝いを行っています。

詳しくは、お近くの都道府県労働局雇用均等室へ

北海道	☎011-709-2715	東京	☎03-3512-1611	滋賀	☎077-523-1190	香川	☎087-811-8924
青森	☎017-734-4211	神奈川	☎045-211-7380	京都	☎075-241-0504	愛媛	☎089-935-5222
岩手	☎019-604-3010	新潟	☎025-234-5928	大阪	☎06-6941-8940	高知	☎088-885-6041
宮城	☎022-299-8844	富山	☎076-432-2740	兵庫	☎078-367-0820	福岡	☎092-411-4894
秋田	☎018-862-6684	石川	☎076-265-4429	奈良	☎0742-32-0210	佐賀	☎0952-32-7218
山形	☎023-624-8228	福井	☎0776-22-3947	和歌山	☎073-488-1170	長崎	☎095-801-0050
福島	☎024-536-4609	山梨	☎055-225-2859	鳥取	☎0857-29-1709	熊本	☎096-352-3865
茨城	☎029-224-6288	長野	☎026-227-0125	島根	☎0852-31-1161	大分	☎097-532-4025
栃木	☎028-633-2795	岐阜	☎058-263-1220	岡山	☎086-224-7639	宮崎	☎0985-38-8827
群馬	☎027-210-5009	静岡	☎054-252-5310	広島	☎082-221-9247	鹿児島	☎099-222-8446
埼玉	☎048-600-6210	愛知	☎052-219-5509	山口	☎083-995-0390	沖縄	☎098-868-4380
千葉	☎043-221-2307	三重	☎059-226-2318	徳島	☎088-652-2718		